

audison

ISTINTO
INNOVATIVO

PRIMA Subwoofers 新商品のご案内



ご好評をいただいているAudison Primaシリーズに、Primaサブウーファーが追加されます。アンプ/スピーカーでアップグレードされた純正システムの低域のレスポンスをさらに押し広げて、音楽を聴く楽しみに大きなインパクトを付加するというニーズから生まれた製品です。そしてこのニーズを満たすために、専用エンクロージャとのセット、および単品のコンポーネントによる提供を用意し、ユーザーの好みに合わせた独自のシステムを構築することができます。

Primaサブウーファー・コンポーネント

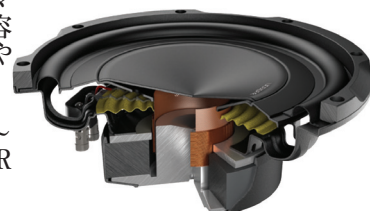
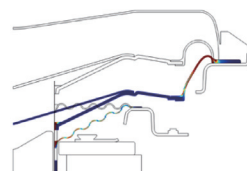
エンクロージャと同じ哲学に基づいて、APシリーズ・アンプとの組み合わせを念頭に置いて三種類のサブウーファー・ユニットを開発し、創造的なカスタム・インストールの阻害要因を取り除きます。Primaサブウーファー・コンポーネントの最大のゴールは、タイトなスペースで高出力を作り出すことです。

サブウーファーの出力はエクスカッションが大きなファクターとなります。振動板が動かす空気量が多ければ出力も上がります。これまでは、ユニットの奥行きを小さくするとエクスカッションも小さくなってしまいましたが、Primaサブウーファーは特殊なcone-dustcap-basketという形状を採用し、取付奥行きを最小に抑えながら、可動部の大きなエクスカッションを確保することに成功しています。エッジとダンパーには、不要な共振を引き起こす“ロッキング・モード”現象を防止するための細心の設計が施されています。

排熱のためのエア・ベントはダンパーの下のバスケットの部分に設計しており、ボトム・プレートにベント・ホールを作る必要をなくしました。これにより、ユニットをエンクロージャの裏面に近づけてインストールすることができるため、取付奥行きサイズを薄くすることに成功しました。

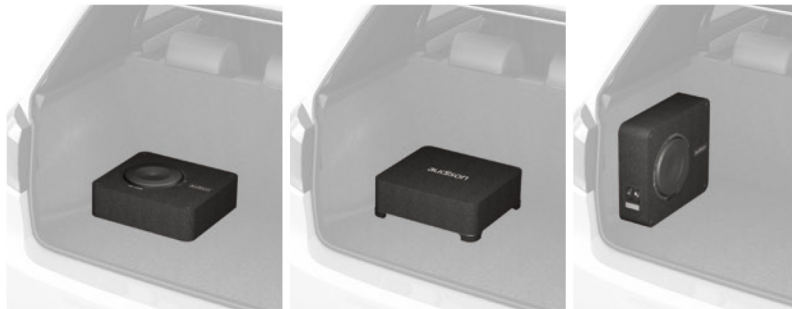
APS 10DとAPS 8Dは、非常にコンパクトな容量のシールド・エンクロージャで最大のパフォーマンスを生み出すように設計されています。それぞれのモデルの容量は最小で10L / 7.5L、推奨容量は12L / 8.5Lです。デュアル/シングル両方のモデルにプッシュ・コネクタが実装され、接続やボイスコイルの構成が簡単におこなえます。

APS 8Rは、アンプのパワーが比較的低い場合でも高い音響出力が得られるように、30~40Hzでチューニングされた8.5Lのバスレフでの使用を念頭に設計されています。APS 8Rは、AP 8.9bit、またはAP 4.9bit/AP 4Dとの組み合わせでの使用を推奨します。



audison

ISTINTO
INNOVATIVO



Up-Firing
(上向き)

Down-Firing
(下向き)

サイド

ハイライト

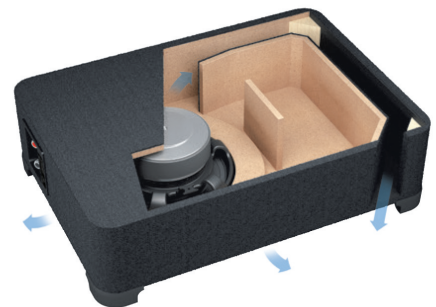
- 2S² - 2 Sides / 2 Sounds: カーペットにしっかりとグリップするマジックテープインサート付きの足付属
- SSP-Sub Smart Plug: 簡単で安全な接続のオプションを提供する接続端子
- 丸みを帯びた角はトランクにインストールする際のポジショニングが容易になり、共鳴を軽減する役割も果たす
- 堅牢なメタル・グリッド・エンクロージャがサブウーファーマニユニットをしっかりと保護

Primaサブウーファーマニテクノロジー

R&Dチームはテスト結果を慎重にまとめ、Audison Primaアンプの特長であるBASS BOOST機能やパラメトリック・イコライザの利点を生かすことができる三つのモデルを開発しました。アンプの持つパワーを最大限引き出すために、次のようなポイントにフォーカスしました: エンクロージャの種類(バスレフ/シールド)、最小インピーダンス(load)、サブウーファーマニユニットの電気/音響特性

APBX 8Rは最低域側のSPLにフォーカスして設計・チューニングされたバスレフ型のボックス・ウーファーマニで、特に多くの車両に存在し「キャビン・ゲイン」として知られる60Hz以下の低域におけるナチュラル・ブーストを上手く取り入れることに着目しています。8インチ、4Ωシングル・ボイスコイルのサブウーファーマニは、AP 8.9bitアンプとの組み合わせで最も効率的にパワーを引き出すことができます。低い共振周波数とバスレフの組み合わせにより、全ての帯域でエクスカッションを抑えることができるため、AP 4.9bit/AP 4Dのセットのブリッジ・チャンネルを使用も可能で、出力は260Wに及びます。

APBX 8DSはサイズ・パフォーマンスに優れるモデルで、8.5Lのシールド・エンクロージャと4+4Ωデュアル・ボイスコイルが、AP 5.9bit(パラレルで2Ω接続)、またはAP 8.9bitのブリッジCh x 2ペア(ブリッジChを各ボイスコイルへ接続)を使ってフルパワーを引き出すことができます。ユニットのエクスカッションの潜在能力が大きいため、AP bitアンプ独自の機能であるBASS BOOSTでアンプのパワーを最大限引き出し、リッチでダイナミックな低音をお楽しみいただけます。



APBX 8 DS

2S² - 2 Sides / 2 Sounds

Primaエンクロージャに二種の異なるインストール方法と音響効果をもたらします。2 SoundsのネーミングはUp-FiringとDown-Firingの二種類のマウント・オプションからきています。2 Sidesはエンクロージャのどちらの面を表に出すかによって、インストールの見せ方を選べることに由来しています。

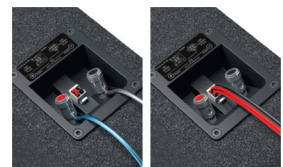
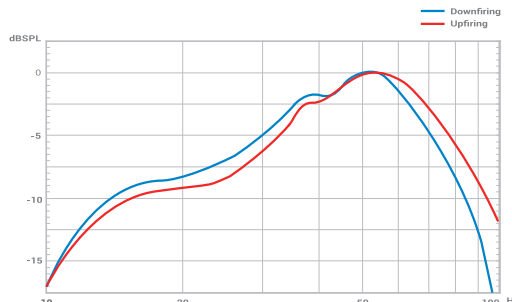
AudisonのR&Dスタッフはそれぞれのオペレーション・モードにおけるサウンドを仕上げ、どちらを選ぶかの選択をリスナーの好みに任せることにしました。

Down-Firing: 低域の伸びを増強したリッチなサウンド

Up-Firing: パンチの効いた明瞭なサウンドでダイナミックな音楽体験を演出

"Sub Smart Plug" - SSP

エンクロージャに実装されるSSPターミナル・ブロックには、従来のプッシュ・コンタクトに加えてPlug-&-Playコネクタがあります。プッシュ・コンタクト使用時にインピーダンスを最小にしたい場合は、付属のブリッジ・コネクタをPlug-&-Play端子に挿します(APBX 10DS/8DS = 2Ω)。Plug-&-Playコネクタも任意にインピーダンスの選択が可能で、取り外しやショート防止のために接続を外す必要がある場合にクイック・リリースが可能です。APアンプとの接続に便利な、Plug-&-Playコネクタ専用ハーネスが付属します。

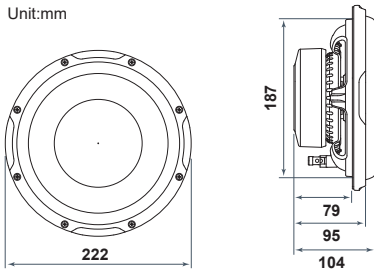


audison

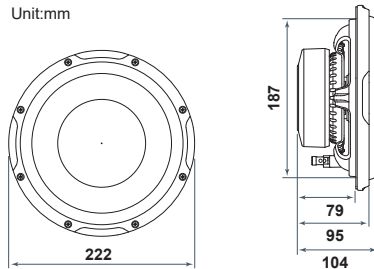
ISTINTO
INNOVATIVO



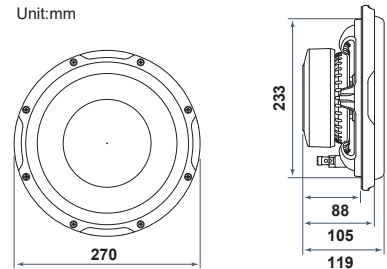
Unit:mm



Unit:mm



Unit:mm



APS 8 R

本体価格(税別) ¥20,000 / 本

- 定格入力:250W
- 入力インピーダンス:4Ω
- 出力音圧レベル:84dB
- 取付口径サイズ:187mm
- 取付奥行サイズ:79mm
- 重量:3.0Kg
- 推奨BOX(バスレフ):10.6L

※グリル付属

APS 8 D

本体価格(税別) ¥21,000 / 本

- 定格入力:250W
- 入力インピーダンス:4Ω+4Ω
- 出力音圧レベル:83.5dB
- 取付口径サイズ:187mm
- 取付奥行サイズ:79mm
- 重量:3.1Kg
- 推奨BOX(シールド):8.5L

※グリル付属

APS 10 D

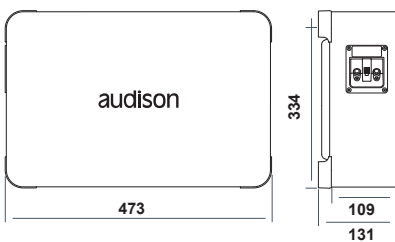
本体価格(税別) ¥30,000 / 本

- 定格入力:400W
- 入力インピーダンス:4Ω+4Ω
- 出力音圧レベル:84dB
- 取付口径サイズ:233mm
- 取付奥行サイズ:88mm
- 重量:5.2Kg
- 推奨BOX(シールド):12L

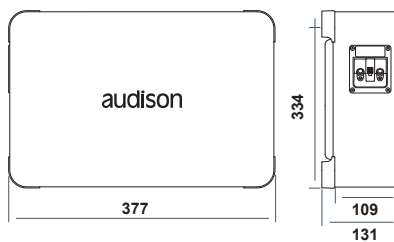
※グリル付属



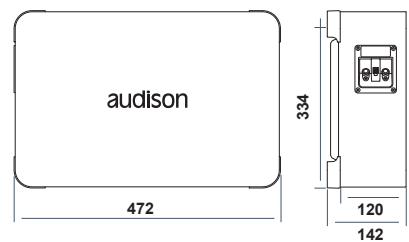
Unit:mm



Unit:mm



Unit:mm



APBX 8 R

本体価格(税別) ¥38,000 / 台

- 定格入力:250W
- 使用ユニット:APS 8R
- 入力インピーダンス:4Ω
- BOXタイプ:バスレフ
- サイズ(幅×奥行×高さ):473×334×109mm
- 重量:6.6kg

※グリル付属

APBX 8 DS

本体価格(税別) ¥38,000 / 台

- 定格入力:250W
- 使用ユニット:APS 8D
- 入力インピーダンス:4Ω+4Ω
- BOXタイプ:シールド
- サイズ(幅×奥行×高さ):377×334×109mm
- 重量:6.2kg

※グリル付属

APBX 10 DS

本体価格(税別) ¥47,000 / 台

- 定格入力:400W
- 使用ユニット:APS 10D
- 入力インピーダンス:4Ω+4Ω
- BOXタイプ:シールド
- サイズ(幅×奥行×高さ):472×334×120mm
- 重量:8.6kg

※グリル付属